



園だより

2019.11.29 No.7

11月、日に日に寒くなる日が続きますが、子ども達は元気いっぱい室内外で過ごしております。園庭では銀杏を収穫したり、木の葉や木の実で物作りをする子ども達の姿、室内では劇や製作活動をしたり思い思いに遊ぶ姿が見られます。12月はいよいよ劇本番、当日の子ども達の姿が楽しみです。

今月は年長組は鎌倉へ行きました。例年通りの山歩きは台風のため道が封鎖され出来ませんでした。鶴岡八幡宮内をじっくり見回ることが出来ました。鶴岡ミュージアムでは館内の方が丁寧に子ども達にわかりやすく説明して下さり、文字だけではわからないことも教えて下さり良い体験になったら良いと思います。何かを見たりして自分の感性を磨いたり、自然に触れたりしながら興味を持ったことが楽しく充実したものになると、日々の生活もより深く豊かなものになるのではないかと考えます。ミュージアムもただ歩き通り過ぎてしまえば何も残りませんが、見たものから何か感じ取ることが出来ると、自分自身の成長にも繋がること出来るのではないのでしょうか。他にもぐるぐると八幡宮内を巡り、様々な鳥やリスを見たりすることも出来、遠足を満喫しました。

ホームページのストーリーにも載せましたが、全日幼の全国研修会では、文科省の方がこれからの教育と日本の動向について教えて頂いたり充実した研修でした。幼稚園保育園こども園とそれぞれに質の求められる時代、今に満足することなく子ども達のために何が良いかを考え続けられるように日々精進して参りたいと思います。



10月に入り、暖かい日や寒さを感じる日など、体調の維持に気を使う気候が続き、季節の変わり目を感じます。また、台風などの災害があったりと、当たり前前に生活ができることに改めて感謝をしなければならないことや、災害への備えや対応についても再確認する機会となりました。また今月は、親子観劇、芋掘り遠足、ハロウィンスイートポテトパーティーなどの、行事を通し、本物を観たり、自然に触れたり、収穫を食したり、その大切さを体験できたと思います。

さて、今月でひよこ組の前期の課程が終了しました。親子一緒に過ごすことや、他のお友だちとの関わりを通して、社会を学ぶ機会になってくれたらよかったなと思います。ひよこ組に限らず、幼稚園の3年間は、この時期にしかできない親子の関わりがたくさんあると思います。登園を1つ例にとってみても、親子で手を繋いで歩いて登園する。晴れの日、曇りの日や雨の日、季節の移り変わりを、親子で体感したり、目で見たことを、親子で会話をする。その3年間の親子の積み重ねは、とてもすてきな、親子の思い出になると思います。自転車に乗せてしまうのは、簡単なことですが、家から歩いて登園してみるとまた違ったコミュニケーションがはかれるのではないのでしょうか。親子でのいろいろな経験が、お子様の成長につながると思います。

佐藤

寒い季節になりましたが、園庭では綺麗な葉っぱを見つけおままごとに使ったり子ども達は元気に遊んでいます。紫の小さな花をフルーツ等に見立て様々な料理を作る子ども達です。「アイスクリームに葉っぱ乗せたの。かわいいでしょ。」「これはポップコーンだよ。いっぱい入れた。後で食べに来て」と大盛り上がりです。作った物を友だちや先生に食べてもらう喜びを感じているようでした。劇遊びの練習も頑張っています。本番はお家の方も見に来る事を伝えると「お母さんも来るの？ワクワクしちゃうよ」と可愛らしい笑顔で溢れています。年少組は初めての劇遊びです。「劇って楽しいね」「もう1回やりたいんだけど」という声に私自身も嬉しくなりました。演じる楽しさ、人前に立つ楽しさ等、沢山感じてもらえたらと思います。

室内では各クラス廃材を使った遊びが盛んに行われています。「ここもっと高くしてみようよ」「これじゃあ失敗だ、どうしよう」と日々発展が見られます。廊下では学年関係なく町作りが行われています。各クラスでの活動も大切ですが、学年関係なく遊べる事はとても良い事だと感じました。年少組の子もお兄さんお姉さんの名前をちゃんと覚えていたり、可愛がってもらったり。そういった若草の良さはこれからも続いていくと良いです。12月は劇遊び本番です。もう今年も終わりに近づいてきましたが、劇も遊びも楽しんでいきたいと思っています。

今年も後1ヶ月。あっというまに一年が経ったなと感じています。外遊びでは、寒さ対策の為、よくツリーハウスの周りを走りますが、「もっと走りたい!」「もう1周多く走っちゃった!」元気いっぱいな子ども達の姿が見られます。また、カメムシをお世話しており、「今日晴れているから太陽に当ててあげる!」などと虫にも興味を持ち図鑑で調べる等と頑張ってお世話をしています。

さて、ゆり組は年長になり沢山の行事を得て出来るようになったことも増え、成長を感じています。しかし、年長組になる前から言い続けていた事があります。“メリハリをつける“と云うことです。今、劇の練習を行っていますが、舞台端で友達とおしゃべりをしたり、舞台上でもふざけたりする姿が目立ち、何度も同じことで子ども達に注意をしてきました。練習する時だけに関わらず、他の活動も同様です。

また、注意を受けた子に対して「お疲れ様」や「頑張ってるね」「大丈夫?」等と云う子がいました。悪い事をしてしまった子に対して言う言葉ではなかった為、子ども達にそう言うのは違うという事を話し合いを設けて伝えました。子ども達同士仲良くなり、団結する姿も多くなってきた一方で、そういった時にも「頑張れ!」などと変な団結が生まれてきています。こういった事が少なくなるように、子ども達と話し合いを通して伝えて行こうと思います。

寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じるこの頃。子ども達は寒さに負けず、園庭で元気にあそんでいます。劇遊びの練習を楽しんで行っている様子も見られます。劇遊びでは、頑張ってセリフを覚えて頑張っています。

「緊張するけど大きな声でやる」など張り切って練習をしています。

室内遊びや外遊びでは、みんなで大きな町を作ったり、ピタゴラスイッチを自分たちで考えてつくったりしています。想像して何かを作り出すことはとても良い経験だと思います。たくさん遊びの中で取り入れていきたいと思っています。

最近のさくら組では、あまり良い言葉が聞こえてきません。「○○だろ」と強く言ってしまったり、言葉で伝えられず、手が出てしまったりということが見られます。相手がどんな気持ちになるか一緒に考えられるようにしています。また、「だつて一〇〇だもん」や「あとでやる」なども最近耳にするようになりました。そのような言葉が減っていくように子ども達にも分かりやすく伝えて保育を行っていききたいと思っています。ご家庭でもそのようなことがありましたら伝えるようご協力お願いします。

楽しみにしていた後期が始まりました。初回は泣いている子もいましたが、自由あそび・製作・動物まねっこをすることができました。そして、2回目のひよこ組。どちらの曜日も晴れていたなので、園庭で思いきり遊ぶことも出来ました。出欠もなんと2回目には、ひよこ組みの全員が、自分の名前に反応して「はい」と手を挙げ返事をしています。子ども達はとても頑張っています。

お迎え後、ひよこ組で何をしましたか？子どもの気持ちのがのったところで、聞いてあげてみてください。親とのかかわりがあればあるほど、幼稚園で安心して先生とそして、友だちと遊ぶことができるようになります。

ところで、幼稚園で「先生！のり…ない」「出席ノートが見つからない」と言ってくる子どもが目立ちました。お母さんがある程度は準備をして、最後、お母さんにみてもらいながら、是非、[出席ノート]・[タオル]・[のり]は自分でリュックやかばんに入れるようにしましょう。そうすれば、まずは探すようになると思います。ご協力よろしくお願いいたします。

先日、在園のお兄さん、お姉さんが採ってきたサツマイモで、はんこをしていましたね。ひよこ組のみんなは七五三！大切な千歳あめの袋を野菜のはんこで模様に見せました。他にもピーマンやオクラなど切って捨ててしまう前にはんこをやってみましょう。

いろいろな事を体験させてあげましょう。

1 1月の絵本

(年長)

- ・エルマーとウイルバー
- ・エルマーとカンガルー
- ・まんじゅうこわい など

(年中)

- ・おもちつきぺったん
- ・いいからいいから
- ・おまたせクッキー など

(年少)

- ・おならうた
- ・どろんこおおそうじ
- ・そらまめくとながいながいまめ など

1 2月の歌

(年長)

- ・we wish you a merry christmas など

(年中)

- ・サンタが町にやってくる
- ・ほしぞらカーニバル など

(年少)

- ・うさぎのはらのクリスマス
- ・おもちゃのマーチ など